

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	170	2年	前期	臨床検査学科	必修	公衆衛生学(共通) Public Health	30	2
担当教員								
鳥居 順子	(未定) *	(未定) *	(未定) *					
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
○	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
地域で生活するすべての人々の疾病を予防し、健康を保持増進することを目指す公衆衛生の理念を学ぶ。健康の概念、疾病予防・健康増進に必要な条件とそれを保障する社会的制度について学ぶ。								
到達目標（授業目標）								
公衆衛生の理念を説明できる。 健康の考え方を説明できる。 疾病予防や健康増進のための保健予防活動について次の分野ごとに説明できる。 （成人保健分野、高齢者保健分野、感染症分野、母子保健分野、精神保健分野、産業保健分野、国際保健分野、保健医療制度） 環境保健の意義と実際を説明できる。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	公衆衛生の意義〔公衆衛生とは、公衆衛生の歴史、健康とは、疾病・障害とは、リスクとその評価〕（鳥居）							
2回	健康と環境〔物理・化学・生物学的環境要因と健康、社会的環境と健康〕、社会と健康〔疾病予防の3段階、集団アプローチ、（地域）社会と健康〕（鳥居）							
3回	産業保健（1）〔産業保健とは、産業保健活動の基礎〕（鳥居）							

4回	産業保健（２）〔産業保健をめぐる最近の課題〕（鳥居）								
5回	健康づくり〔疾病予防と健康管理、栄養、ライフスタイル、健康日本21〕、地域保健と保健行政〔地域保健活動と行政〕（未定＊）								
6回	生活習慣病対策（１）〔生活習慣病とは、メタボリックシンドロームと特定健診・特定保健指導〕（未定＊）								
7回	生活習慣病対策（２）〔循環器疾患・がん・糖尿病の予防〕（未定＊）								
8回	高齢者の保健・医療・介護〔高齢者の生活と健康、高齢者の保健と医療、介護保険、地域包括ケアシステム〕（未定＊）								
9回	感染症対策（１）〔届出、検疫、予防接種〕（未定＊）								
10回	感染症対策（２）〔結核、エイズ等〕（未定＊）								
11回	精神保健（１）〔地域精神保健福祉対策、社会復帰対策〕（未定＊）								
12回	精神保健（２）〔メンタルヘルス、ひきこもり、認知症等〕（未定＊）								
13回	母子保健〔保健指導、健康診査、健やか親子21〕（未定＊）								
14回	環境保健〔上下水道、廃棄物、食品衛生〕、環境保全〔公害、地球環境〕（未定＊）								
15回	国際保健〔国際化、世界の健康問題、国際協力〕、保健医療制度〔衛生行政、医療費、社会保障、医療保障〕（鳥居）								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
鳥居担当分野30％（受講態度5％＋定期筆記試験25％）、（未定）非常勤講師担当分野20％、（未定）非常勤講師担当分野20％、（未定）非常勤講師担当分野30％（定期筆記試験のみ）と配点し、総得点で評価する。60点以上を合格とする。									
教科書	辻一郎・小山洋「シンプル衛生公衆衛生学2023」（南江堂）								
参考図書等	照屋浩司・川村堅「最新臨床検査講座 公衆衛生学」（医歯薬出版） 「国民衛生の動向 2022/2023」（厚生労働統計協会）								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
各回で内容理解に積み残しが出ないように、関連科目での学習内容も含めて必要性に応じた復習を求める。									
関連科目									
前科目									
後科目	社会のしくみと健康		食品衛生管理者・食						
実務家教員									
医師（行政機関）	（未定）＊	（未定）＊	（未定）＊						
備考									